

# つぼさか壺心会 94号



ライトアップ壺阪寺夜間拝観（2014年8月実施）

テレビから流れる気象に関する警報、勧告の多さに驚く毎日です。気象レーダーの発達など、科学から導かれる警報ですが、それによる避難の勧告、指示などは首長の判断によるところもあると聞きます。勧告や指示の出すタイミングを巡って、災害後に議論が起こりますが、最後は人間に限られた情報の中で決断するわけですから、難しいだろうなと思います。

人が行う判断は、その人の経験、日ごろからの鍛錬が複雑に関わりあって行われるものだと思います。時には、経験を超えた大惨事も予測しながら、判断する場合も要求されます。そのような能力は、どのようにすれば備わるのか、また、経験したことのない未知の領域にある事象にどのように対処すればいいのか、浅学であるためいつも迷ってしまいます。

日本の高齢者福祉も大きな曲がり角に、立っていると思いますが、これからどのくらいの変化があるのか、予測がついていないようにも思います。五十一年前に施行された老人福祉法を始め、高齢社会の指針となる法制度は数多く整備されてきましたが、高齢者だけでなく「人」を取り巻く社会環境の最近の変化に追い付けているのかを、これから検証だけでなく、大きな改正する手も加えていかねばならないと思います。

先代住職を始め、その当時の福祉家達は、戦後の焼け野原を経験し、その日の寝床、食事を求める経験を自ら体験しておりました。貧しさとは何かと、困るとはどういうことかと、知識を超えた何かを得ることにより、社会事業にまい進したように思います。

二十一世紀になって、貧困層が増大していると識者は指摘しています。六十九年間、戦争をしなかった日本でも、二十数年前、一億総中流という流行語さえあった日本で何が起こったのか、検証を加え、経験を遥に超える困難の大波に負けたくないしたいと思います。

合掌

壺阪寺住職 常盤 勝範

## 施設だより

前93号では、老人ホームってなに？というテーマで「特別養護老人ホーム」について説明しましたが、今回は「養護老人ホーム・養護盲老人ホーム」について説明します。

# 養護老人ホーム・養護盲老人ホームとは？

養護老人ホームは、65歳以上の方(注1)で環境上の理由(注2)及び経済的理由(注3)により家庭での生活が困難な高齢者が、施設に入居して必要な生活環境と日常生活に関する支援を受ける施設です。また、介護が必要な方には介護保険を利用し外部のサービスを受けることも出来ます。

視覚に障がいのある入所者の数が入所定員の7割を超える施設を「養護盲老人ホーム」と言います。

## 養護(盲)老人ホームへの利用基準

(注1)65歳未満の方でも、他の要件を満たしていれば利用できる場合があります。

(注2)入院などの治療を必要とする状態ではない方。養護盲老人ホームの場合、視覚に障がいを持たれている方で、家族や住居の状況などにより生活することが困難であると認められる場合は入所できます。

(注3)経済的理由とは、本人の世帯が生活保護を受けている場合、世帯の生計中心者が市町村民税の減税を受けている場合などです。もしくは、災害その他の事情により世帯の生活の状態が困窮していると認められる場合入所できます。また、視覚に障がいを持たれている方は経済的理由がなくても認められることがあります。

## 養護盲老人ホームの特徴は？

養護盲老人ホームは一般的な養護老人ホームとは異なり、視覚障がいをお持ちの高齢者が生活しやすい空間づくりを行っている、高い専門性を持つホームです。

例えば、視覚障がいをお持ちの方にとって環境の変化は精神的な負担につながります。そのため、居室に関しては自宅で生活していた環境に少しでも近づくように、自宅での家具の配置にできるだけ合わせた配置を行っています。

また、廊下には手すりを設置しており、居室の出入口や、トイレ、お風呂場、階段などには、目印として手で触って場所を把握できるように人形や鈴などを付けています。

そして職員は視覚障がい者についての研修を受けており、専門性を持って入居者が暮らしやすい声掛けや対応をして介助を行っています。

## 養護(盲)老人ホームの利用手続き

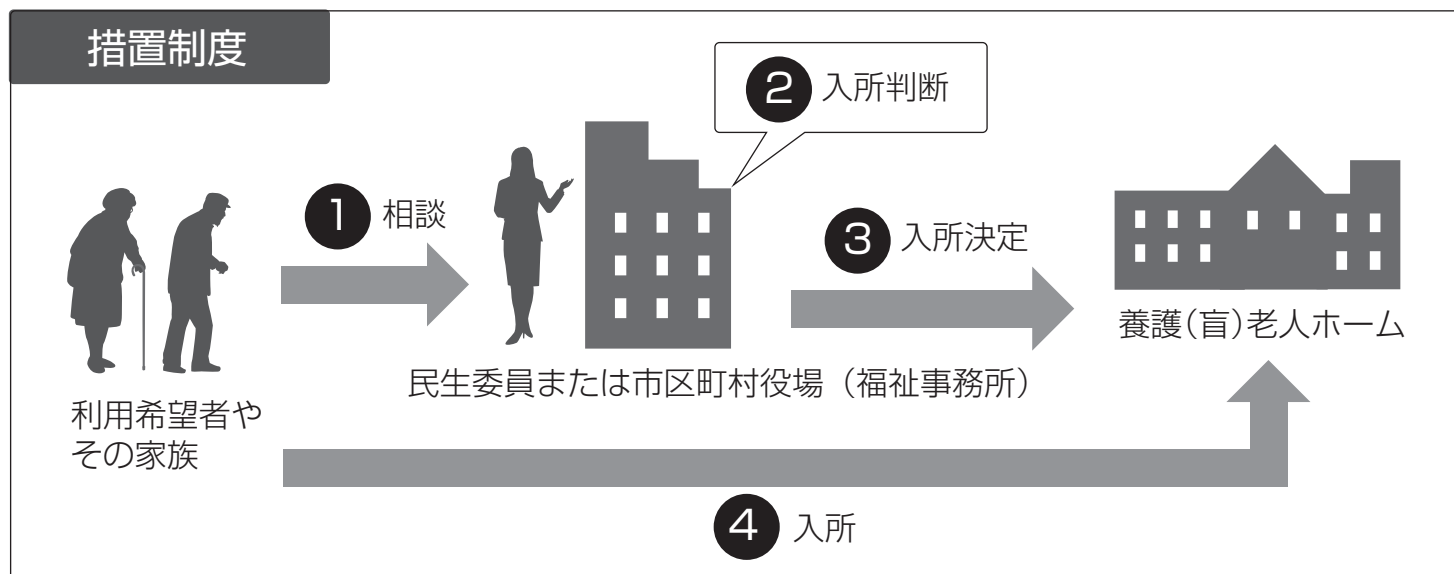
施設を利用するには、お住まいの地域の民生委員または市区町村役場の福祉事務所に相談が必要です。その後、福祉担当者や医師などを交えた入所判定委員会により入所の可否を判定し、市区町村から施設へ入所の措置委託が行われます。それによって希望者は養護(盲)老人ホームに入所することが出来ます。

この仕組みを「措置制度」といいます。

## 養護(盲)老人ホームの費用

利用料は措置を行った市区町村(一部、国及び都道府県)が負担します。利用者やその扶養義務者は前年度の個人の収入に応じて、自己負担額を市区町村(福祉事務所)に納める必要があります。

### 措置制度



## 養護(盲)老人ホームで提供されるサービス

養護(盲)老人ホームで提供されるサービスは、ご利用者の個別の支援に関する計画に基づいて行われます。その方が有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるように、必要な居住・食事の提供だけでなく健康相談や生活相談、衛生管理等を行います。

## 養護(盲)老人ホームの課題・問題点

今後団塊の世代の方が高齢となり、養護(盲)老人ホームを利用される時代となります。ご利用者のニーズの多様化によって求められるサービスも変化していくと考えられます。

また、高齢化によって介護の必要な利用者や認知症の方、視覚障がいだけでなく複数の障がいを持つご利用者も増加しており、従来の見守り支援だけでは対応できなくなってきています。そこで、今後は特別養護老人ホームで行っているようなサービスも提供するなどして、利用者一人一人に沿ったケアを行っていきます。



五色園の廊下  
手すりがついて、歩きやすくなっています。

# 施設だより

## 養護盲老人ホーム 慈母園 ～平成25年度の取り組みと課題～

### 慈母園

慈母園は豊かな自然に囲まれた西国観音霊場六番札所「壺阪寺」の境内にあります。

昭和36年に我が国で最初の視覚障がいをもつ高齢者の施設として開園し、今年で創立53年を迎え、昭和59年3月には、視覚障がいをもつ高齢者の暮らしの支援に必要な機能を備えた、当時では最新の施設へと全面改築されました。

以来30年が経過し、当時は誰もが使いやすいという視点「ユニバーサルデザイン」の考えが普及していなかったため、課題として浴室や脱衣場の入口に段差があること、トイレや洗面設備など車椅子では使いにくい設備になっているなど、建物設備等の老朽化が支援業務に影響を与えていることが大きな課題であります。

また、ご利用者の高齢・虚弱化に伴い介護を必要とするご利用者が増えてきており、本来、養護老人ホームとして行うべき趣味や、日常生活を楽しむ「生き甲斐を感じながら暮らす」ことへの支援が手薄になっているという課題も併せて生じています。

この様な課題に対応するために、支援や対話を通して一人ひとりのご利用者を十分に理解し、個別サービスの



提供と、身体状況に応じた生活環境、施設設備の整備を進めております。

さらに、要介護者が受け入れ可能な「外部サービス利用型特定施設」への移行に向け、施設内外の研修を通じ、ご利用者の多様化に応えられる職員の質的向上にも努めています。



ご利用者による劇団 愛園座公演



新春福笑い大会

## 養護盲老人ホーム 五色園 ～平成25年度の取り組みと課題～

### 五色園

五色園は自然豊かな淡路島に建てられた養護盲老人ホームです。瀬戸内の温暖な気候と静かな波の音、きれいな鳥の声や虫の音を聞きながら、四季の自然を楽しむことが出来る全室個室の施設です。今年で創立42年目を迎えることができました。

当施設では、入所時には元気に生活されていた方が、介護が必要になっても当施設で生活できるよう環境面を整えてまいりました。

また、介護保険法の改正により2015年度からは特別養護老人ホームの入居条件が「要介護度3以上」とする基準を設けられることになりました。そのため今まで養護(盲)老人ホームの対象とならなかった介護を必要とする方が入所する事が予想されます。五色園では外部の介護支援を行う団体や関係機関と議論を深めながら「外部サービス利用型特定施設」への円滑な移行に歩みを進めています。

また多様化するご利用者へのニーズに対応できるよう現在様々な研修を行っています。今後も、ご利用者のニーズに沿った信頼される施設づくりに力を入れてまいります。



くつろぎのスペース 五色庵



屋外での食事会



牧場への遠足

# AIV だより

## ～(一財)アジア・アフリカ国際奉仕財団の歴史～

(一財)アジア・アフリカ国際奉仕財団(AIV:Asia Africa Voluntary Foundation)は1989年に設立された団体です。主にインドやウガンダで教育支援、人材育成を行っています。

「どうしてお寺が海外の支援をするの?」とよく聞かれます。そのきっかけは1965年までさかのぼります。

先代の住職常盤勝憲師がインドを訪問した際、日本人医師がハンセン病患者の救済を行っているのを知り支援を始めました。そんな中、インド人医師の妻たちがロパ・ムドラ学校を設立して(当時は青空教室)子どもたちに勉強を教えていました。「貧しい子どもたちほど、しっかりと教育を受けなければいけない。子どもが教育を受ければ、教育を受けられなかった親を助け、貧困と闘うことができる」という想いに賛同した勝憲師は、ロパ・ムドラ学校への支援を始めました。

その後、これらの支援の輪はインド各地に広がり1989年「財団法人アジア・アフリカ国際奉仕財団」を設立。1990年からはウガンダのスラム街にある学校の支援も始めました。

2013年からは一般財団法人化し、奈良県を中心とした国際理解教育にも力を入れています。

## どうして支援し続けているの?

ロパ・ムドラ学校に通っている生徒の半数以上が一カ月300円程度の授業料を払っていません。しかし、学校で読み書きや、社会性を身に付けなければ、世の中に出て暮らしていく事は容易ではありません。

また、日本人の暮らしの多くは他の国なしには生活することが出来ません。私たちが食べる食材の多くは海外からの輸入に頼っていますし、携帯電話に使われるレアメタルもアフリカでしか採ることが出来ません。そのような中で、彼らの暮らしを豊かにするために、教育や人材育成支援を行うことはとても大切です。

将来的にはロパ・ムドラ学校を卒業した生徒などが自立して、学校を運営していくことが理想だと考えています。



設立当時の学校



現在の学校

## 活動を知るには?

### ①壺阪寺を訪れる

壺阪寺境内において、団体の設立経緯や現在の活動等の紹介をしています。

### ②ホームページを見る

定期的な更新をしていますのでご覧ください。

<http://www.aivjapan.jp>

### ③現地を訪れる

インド、アグラのタージマハルのチケットカウンター前にロパ・ムドラ学校があります。観光でアグラを訪れた際にはぜひお越しください。

## 今後の活動予定

①秋の勤進やっています。(壺阪寺境内にて)

②12月6日インド アグラ・ロパ・ムドラ学校にて「壺阪寺・日印友好50周年記念コンサート」を開催。

## つぼさか壺心会の活動紹介

「つぼさか壺心会」は壺阪寺が行う福祉事業を応援する会です。壺阪寺境内においてもさまざまな募金活動を行っています。

### 「明日香園ご利用者製作ラベンダーポプリ」

1つ100円

明日香園のご利用者が手作りしたポプリです。壺阪寺にはたくさんのラベンダーが植えられています。毎年7月ごろ壺阪寺の職員と明日香園の職員でラベンダーを摘み取ります。

それを明日香園に持ち帰り、乾燥させます。その後ご利用者の方が袋詰め作業を行って出来上がります。袋もご利用者の家族の方が作成しています。半年近くラベンダーの香りを楽しめます。



### 「福祉ふきん」 1枚1,000円

慈母園では毎年ご利用者の方が一針一針思いを込めて縫った雑巾を、東京の玉川学園の生徒たちにプレゼントしています。これは毎年12月に募金を頂くお礼として送っているものですが、境内では布巾をぬって販売しています。

頂いた浄財は視覚障がい者福祉のために使わせて頂いています。

### 「インド製手作り小物」

(シュシュ(髪かざり)、ポーチ、ストラップ、眼鏡チェーン)

1つ500円以上をお納めください。

インドのお母さんたちが手作りした製品です。売り上げがお母さん方の生活費や子どもの学費になります。

2013年よりロパ・ムドラ学校では、意欲や能力のある女性は職業訓練コースへと進み、衣類を作る教室に通っています。



これらの販売は、郵便でも受け付けています。別途送料100円。

○お申込み方法○

郵便振替用紙に「商品名×口数+送料(100円)=金額」を記入。【記入例】「福祉ふきん×1口+100円=1,100円」

郵便振替口座:00930-5-116930 加入者名:つぼさか壺心会

# 壺 阪 寺

## 10月～平成27年1月 行事予定

### ●10月

10月11日(土)～11月30日(日) 壺阪寺お身拭い参拝(秋の特別拝観)

本尊十一面千手観音様(室町時代)の膝前まで上り、特製の浄布をもってご祈念しながら、観音様のお膝をふいていただきその布をお守りとしてお持ち帰り頂きます。 期間中 毎日9時～16時 志納金 500円



10月18日(土) 眼病封じ祈願会・めがね供養

### ●11月

11月2日(日) 壺阪寺インド祭り

同時開催「第6回一般社団法人奈良県鍼灸マッサージ師会による壺阪寺奉仕施術(無料)」

内容:インド映画「きっと、うまくいく」上映(無料)  
インドカレーふるまい(無料)、インド民芸品販売など  
※当日写真を撮ってくれる方など、お手伝いいただける方も募集しています。



11月18日(火) 観音ご縁日

### ●12月

12月18日(木) 観音ご縁日(納め観音)

秘仏子島荒神像御開帳

12月31日(水) 年越し福引大会

### ●1月

1月1日(木)～3日(土) 修正会・新春福引き大会

1月18日(日) 観音ご縁日(初観音)

### 編集後記

94号の編集にあたって、93号の施設だよりでも特集させて頂きました『老人ホームとは?』により、特別養護老人ホーム・養護老人ホームについて、実際の入所までの流れをご案内させて頂きました。また、慈母園・五色園はご利用者の多様化に応えるべく、大きな変革を迎えようとしています。

AIVだよりでは、歴史から今後の活動予定までという構成にさせて頂き、少しでも多くの方に活動のご理解やご協力をお願いできればと考えております。(鳥越)

発行・編集／お問合せ 壺阪寺福祉事業後援会 つぼさか壺心会

〒635-0102 奈良県高市郡高取町壺阪3 電話:0744-52-2016 FAX:0744-52-3835

ホームページ

壺阪寺 <http://tsubosaka1300.or.jp/>

(福)壺阪寺聚徳会 <http://tsubosaka1300.or.jp/shutokukai>

(一財)アジア・アフリカ国際奉仕財団 <http://aivjapan.jp>